「南高スタイル」

「自由」「規律」「友情」

令和5年5月23日
弘前南高校
1年次通信 No.2

1 グループエンカウンターで学んだ事

4 月もゴールデンウイークもあっという間に過ぎ去り、気がつけば 5 月も下旬になりました。連休明け体調を崩す生徒も見え始めましたが、4 月の疲れや季節の変わり目という影響もあると思うので、睡眠と休養をしっかりとって、元気を蓄えて欲しいと思います。

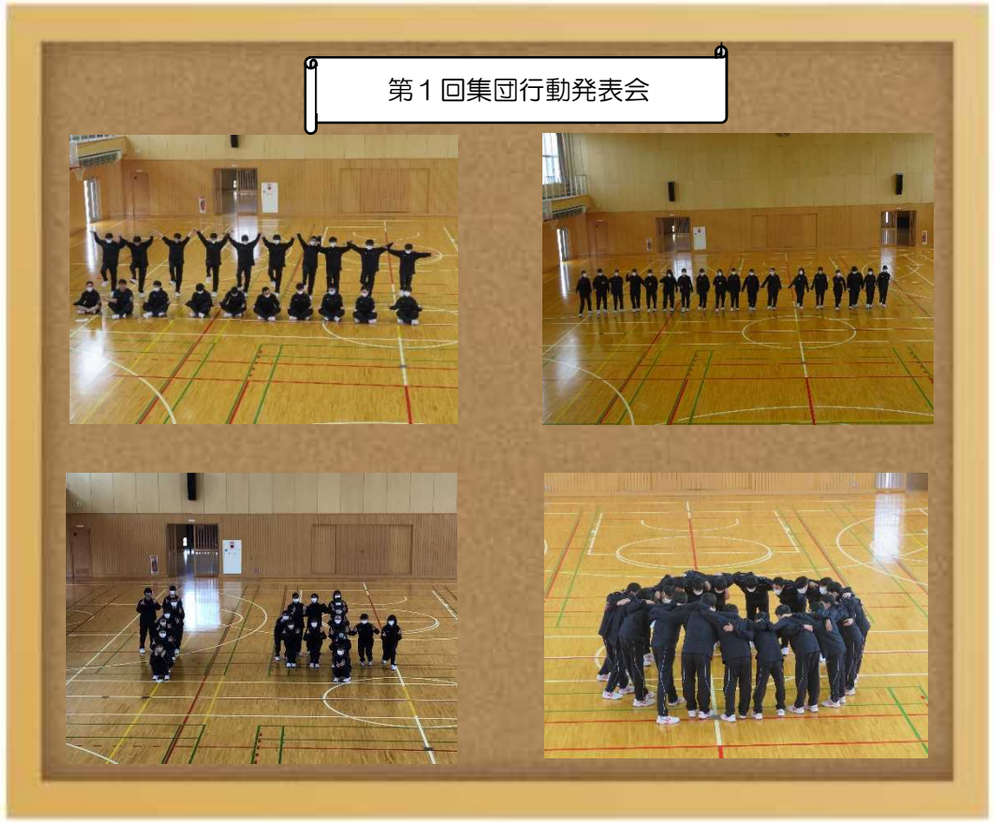
5 月 10 日「構成的グループエンカウンター」と題し、「親密な人間関係づくり」について学習しました。生徒はもちろん担任の先生方も一緒に活動し、楽しそうにコミュニケーションを深めたり、体を使って形態模写で表現しながら生徒と担任が心を通わせている姿は、見ていて微笑ましい限りでした。自分が高校生の時にこのような活動があったら、皆さんと同じように心から楽しむ事ができたかどうか。積極的に参加できたかどうかと考えさせられました。そう思うと今の 61 回生は物怖じせずに積極的に参加し楽しむことができる、明るく快活な生徒だと思っています。先日の年次集会で、私が18 歳で初めて東京に進学したとき、明るく社交的な都会の人たちを前に、ほとんど会話もできず田舎者丸出しで恥ずかしい思いをしたことを告白しましたが、皆さんの姿を見ていて、当時の自分とは比べものにならないくらい社交的でそして都会的センスを感じました。担任の先生方からも「うちの生徒はすごい！」（背の高い担任）「うちの生徒は一生懸命で、めごい生徒ばかりだ」（英語科の担任）と親が自分の子供を見るような、微笑ましいまなざしで見ているのが印象的でした。

前回の年次通信では「1 年次 200 名の生徒たちは、何かの縁が引き寄せたかけがえのない仲間で、お互いがお互いを成長させる貴重な存在である。そして結束を深めていくことによって全員の進路達成と生き抜いていく力に結びつく」と述べました。今後も高校総体や清掃ボランティア、校内体育大会、南高祭（ダンス発表）などたくさんの行事があり、皆さんの結束力が試されるときが来るでしょう。大切なことは、先ほど述べたような自分たちの良いところ、長所を自覚すること。そして、本気になって楽しんだり、本気になって議論したり、本気になってぶち当たること。困難な局面もあるでしょう。そんな時にも物怖じせず、ひとまわり大きな人間になるためと、チャレンジすることが大切ではないでしょうか。

2 1年次集団行動発表会

先日、体育の授業で集団行動の発表会を行いました。練習時間は短かったものの、各クラス創意工夫し、立派に仕上げたと思います。担任の先生方全員に審査員を務めてもらい、生徒の発表を鑑賞しました。以下は先生方のご感想です。

担　　任	感　　想
11HR 小山 花恵	心、射ぬかれました。協力体制バッチリ！最後の人文字はなかなかクオリティ高かった！
12HR 宮﨑 彩子	男女とも協力しながら、一生懸命発表している姿、ステキでした。
13HR 檜山佳那子	男女とも、元気な13HR らしさが出てました。最後のポーズは鳥と大仏に見えました。
14HR 佐藤 有代	男子は個性に溢れ、女子はおっとりと可愛らしく、見応えたっぷりで、面白かったです。
15HR 岡部 晋也	男女それぞれの特徴が表れていました。本番でビシッと決まってかっこよかったです。



1 年次通信は弘前南高校 HP でも閲覧できます。
http://www.hirosakiminami-h.asn.ed.jp/